



してもらえらることを目指し、『防災メモ』を掲載しています。地震災害や津波災害、洪水・土砂災害など各種災害への備え、気象情報、山菜採り時の注意などについてお知らせしています。

行政サービスや市内の行事などの情報を分類して掲載

くらしのガイド
困ったときにはまず相談
すくすく子育ていきいき健康
わくわくおでかけナビゲーション

読む人が必要な情報をより探しやすいよう、市や国、北海道からのお知らせを掲載する『くらしのガイド』、困ったときの相談先などをまとめた『困ったときにはまず相談』、子育てと健康に関する行事や行政サービスなどの情報をお知らせする『すくすく子育ていきいき健康』、市内や近隣市町で行われる各種



行事を紹介する『わくわくおでかけナビゲーション』に分類し掲載しています。

ふおれすと鉦山
遊びに行こう

ふおれすと鉦山やその周辺で、自然と触れ合つことのできる行事を紹介

みどりとの触れ合いは生活に潤いを与えてくれます。広報のほりべつ



では、市民の皆さんに『のほりべつ』の豊かな自然と親しむ機会を作ってもらえるよう、四季の移ろいにあわせて開催される多様な行事を毎月掲載しています。

若いチカラが登別の未来を創る
日本工学院北海道専門学校
日本工学院北海道専門学校の取り組みを紹介

市の誘致により昭和57年に開校して以来、高い技術や専門知識を有した人材を輩出してきた日本工学院北

海道専門学校。市は、多くの学生が集まり、活躍する人材を育てる同校の支援を行うほか、同校の魅力を多くの人に知

ってもらえるよう、このコーナーで、写真などを交えて毎月紹介しています。



となりまちホットライン

近隣市町で開催される行事などを紹介

広報のほりべつに掲載している記事は、市内の情報ですが、近隣市町においても魅力的な行事などが数多く開催されています。1992年(平成4年)6月1日号から掲載している『となりまちホットライン』では、室蘭市・伊達市・白老町で開催される行事のうち毎月1つつつ紹介しています。



これからのまちづくり
〜広報紙の役割〜

登別市は、平成30年に登別温泉開湯160年や市民憲章制定50周年、北海道命名150年、そして平成32年には市制施行50周年を迎えるほか、東京ではオリンピック・パラリンピックが開催され、白老町では民族共生の象徴空間が設置されます。

この『機』をまちづくりの契機と捉え、観光誘客に生かしていくことはもちろん、スポーツ活動や文化活動などを活性化するきっかけとし、市民の皆さんと共に歩むまちづくりを進める年としていきます。

市民と行政が手を携え、より良いまちづくりを進めるためには、まちを取り巻く状況について共通認識を持ちことが大切です。そのためには、広報のほりべつに掲載するお知らせなどにより、互いに情報を共有する必要があります。

今後も広報のほりべつには多様な情報を掲載していきますので、手に取って読んでみませんか。それこそが、わたしたちのまち『のほりべつ』が明るく未来を歩んでいく第一歩につながるのではないのでしょうか。

▼問い合わせ

企画調整グループ

(☎) 6580(6)